

令和7年度 第3回 小金井市立前原小学校 学校運営協議会 会議録
(コミュニティ・スクール委員会)

日付：令和7年12月11日（木）
時間：10時から11時
場所：けやきルーム

参加者：梶野さん、村澤さん、伊藤さん、野崎さん、貞平さん、中西さん
学 校：小柳校長、板澤副校長、金澤主任教諭、磯垣主任教諭、細川主任教諭、濱田主任教諭
6年児童（蔵杉さん、磯崎さん、前田さん、松木さん、陶山さん）

1 委員長挨拶

皆様、おはようございます。よろしくお願ひいたします。
それでは、校長より挨拶をお願いします。

2 校長挨拶

皆様おはようございます。寒い中ありがとうございます。ようやく、学芸会が終了した。ようやく・・・
というの、インフルエンザで伸びてしまったこともあり、「ようやく学芸会を終え日常生活が戻ったところ」という意味である。学芸会を参観していただきまして、ありがとうございました。
本日は、よろしくお願ひいたします。

3 議題

CS 梶野：それでは、議題に入ります。まずは、学校経営方針追加事項提案です。小柳校長先生お願いします。

(1) 学校経営方針追加事項提案 ※議題提案者：小柳校長 *資料A4両面参照

①授業変革の推進→教育委員会から示されている。（変更点）

- ・探究的な要素をもつ活動
- ・小・中学校9年間を見通した学習
→研究奨励校として2年間研究に取り組んだ、活発な対話を引き出す手立ての継続とともに、すべての学年で学期に1回自由進度的な学習を行う。

②子どもの権利の尊重

- ・教職員の理解促進
- ・小金井市の子ども権利に関する条例の授業
→第6学年におけるオンブズマンの出前授業の実施後、各学年へのプレゼンテーション機能を使用した紹介。
- ・不登校対策
→毎月初めに、不登校対策コーディネーターより、月5日以上の欠席児童の報告及び分析や手立ての共有。

③コミュニティ・スクールでの熟議

- ・3学期に本校の課題を取り上げた熟議を行いたい。
- ・地域連携
→地域連携担当を中心とした地域連携活動年間計画及び地域人材一覧表を作成し、持続可能な地域連携の充実を図る。

CS 梶野：何かご意見はありますか。意義が無いようなので、承認いたします。

CS 梶野：次に6年生による人権プレゼンの発表です。6年生、お願いします。

(2) 6年生児童プレゼン発表 ※5名の児童がクロームブックのプレゼンテーション機能を使用して発表。

- ・子どもオンブズパーソンの方から学んだことを生かして、資料をまとめた。
- ・5年生向けにプレゼンした内容
- ・条例の件
- ・権利の使い方等

CS 貞平：権利の使い方の例があつたが、その使い方がなぜ間違えているのか。

松木→自分の都合のいいように権利を使ってはいけない。

CS 貞平：ゲームをやってもいいか？

蔵杉→やってもよい。

CS 野崎：SNSは使用していますか？

子供たち→SNS 使用している。

CS 野崎：オーストラリアでの規制についてどう思うか。

子供たち→支障はある。

CS 野崎：学校での指導や使い方をしっかりやってほしい。

CS 中西：表現の自由等、相手に対しての言葉掛けについて考えさせられた。大人の使い方も間違っているところがある。子供たちがプレゼンをしてくれたことで未来は明るいと思った。

(3) 学校評価中間報告

①プレゼンテーション機能を用いた研究の説明 ※議題提案者：細川先生

- ・保護者には7月、12月にアンケートを取っている。
- ・昨年度の課題：「振り返り」であった。子供の感想から次に繋げることができなかった。
　この手立てについて、今年度重点において指導した。今年度は、8割を超えているスタート。
- ・保護者「まあかんじる」と思っている方が多い。→自由研究を見て保護者の感じ方が変化した。
- ・マエハラレスポンスについて→4月からの取り組み。高学年の反応があった。
　12月の伸びが楽しみである。
- ・生活指導→継続した指導が必要 言葉遣い（子供は、家庭と学校で使い分けている）
- ・ハートフルウィークの取組
- ・体育 持久走
- ・特活 たてわり班活動
- ・地域活動 ゲストティーチャーを召喚

②様式2 学校評価から ※議題提案者：濱田先生

- ・CSの方々の評価から今後の取組について補足

CS 梶野：この件についてご意見がありますか。意義が無いようなので、承認します。

(4) けやきステージフェスタ

・プレゼンテーション機能を用いたけやきフェスタの説明 ※議題提案者：磯垣先生

- ・台本の内容づくりについて。
　→現代にあった内容、人権を考えた内容にした。
- ・小道具づくり
- ・巨大スクリーンの活用
- ・会場準備6年、片付け5年（引き継ぎ・6年生からバトンを受け継ぐ）
- ・きょうだい学年で手紙の交換（掲示している）
　お互いに送り合い交流している。

個人の振り返りも行っている。→子供の感想文から紹介

CS 梶野：ご質問ありますか。

CS 中西：マグロが3分割されていて躍動感があった。学校の音響よりもう少しよい音響を持っている。貸すことも可能である。

磯垣：機材の不具合もある。

CS 中西：子供のためなら動く保護者もいる。

CS 梶野：LEDの照明も見た目が良かった。

磯垣：以前は電気を消す演出もできなかつた

CS 伊藤：本番がピークになるように子供たちは良くなっている。今年は完成度が高かった。3年生は声も大きく元気がよかつた。どの学年も生き生きとやっていた。4年生になると歌も上手、表現力が上がっていると感じた。

磯垣：ありがとうございます。学年に伝えます。

CS 中西：台本は、どのように決めているか。

磯垣：前回までの物を教員が集めている。他校の物を参考にさせてもらっている。時代の流れも考えて、内容も変わっていくのではないか。4年の教員は、自分で作者に連絡を取り、挑んでいた。

CS 伊藤：どろぼう学校も本でみたことがある。

磯垣：5年生の「まきもどし」を知らない子が多い。

CS 貞平：家で説明した。

CS 野崎：6年生が「5年生の巻き戻しがよかった。客席側の使い方がよかった。」と6年の児童が言っていた。児童がよく見ている。最上級生として見ているのを感じた。

6年生でピコ役が男子であった。ジェンダーレスが言われているなかで取り組んでいるのに驚いた。

磯垣：自分でオーディションを受けた。5人中2人が男子だった。劇団四季の映像を見てからオーディションだった。

CS伊藤：初めて男の子が女の子の役をやっているのを見て、感動した。

CS野崎：人権の指導をしているからこそ、子供が自分から手を上げやすい。

CS梶野：学校で指導をされているからこそだと感じる。みんなが積極的にやっていた。嫌がっている姿が見られなかった。

CS梶野：何かご意見はありますか。意義が無いようなので、承認いたします。

CS梶野：議案はすべて承認します。よろしくお願ひいたします

4 委員の皆様からの情報提供

- ・まなび～171名登録、参加登録用紙を2学期も配布した。
- ・3年生、5年生多い。4年生少なめ。6年生定期的に来る10名。
- ・暑くて見守りができないときに、まなび～に来たが、使用方法がよくなかった。使用マナーを再度指導した。
- ・個人面談週間、初めて来る児童もいた。
- ・学童を辞めてまなび～に来る子がいる。
- ・3年生、1年生でのトラブルがあった。放課後子ども教室の森田さんも入った。

CS村澤：けやき祭をみた。みんなで協力することの大切さを感じた。

こだまというところがどんなところなのか教えてほしい。

校長：難聴・言語学級である。二小にある。→こだま学級、梅の実学級、ひだまり教室の説明。

保護者の申し出、同意等が必要である。

CS梶野：子供の実態に応じて対応ができるとよい。

CS伊藤：退室もできるのか。

校長：できる。1年更新であるが、退室はできる。

CS梶野：前回のマンホールトイレ設置訓練について、皆さん、ありがとうございました。良い経験ができた。
課題も見えた。テント等、どこにするか。

副校长：現在、2基のみ備蓄倉庫にしまっている。残りの8基の保管場所を探している。

CS梶野：分かりました。

CS貞平：みんなの給食委員会の市報についてのお知らせです。→市報を見せながら説明。

CS野崎：マンホールトイレの設置訓練については、南小で体験したことがある。立地によって条件が違うことがよく分かる。

5 その他（事務連絡）

- 副校长
- ・2月13日研究奨励校研究発表会について
 - ・第4回の学校運営協議会の案内

CS梶野：以上をもちまして、令和7年度第3回前原小学校 学校運営協議会を終了します。
ありがとうございました。